

## u d c 在庫図書の概要紹介

# 「都市整備と都市デザイン」

～まちをクリエイトする区画整理～

- ・監修：建設省都市局区画整理課
- ・編著：(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- ・1993年発行／A4判／211ページ

本書は市街地整備における都市デザインのプロセスと手法について取りまとめたもので、良質な市街地をつくり出すための計画上の技法を紹介するとともに、計画を実現させるための事業推進上の様々な留意点を解説している。



## 目次

本書の活用にあたって	1	2.2.2 ソーニング	66	4.2 各段階で重点的に検討する事項	109	6.2.3 水系	139
1 本書の目的	2	(1) 領域の設定		4.2.1 企画・構想段階	109	6.2.4 植生	140
2 本書の構成	3	(2) 土地利用の決定		(1) 従来の把握		6.3 活かすべき自然的資源の調査方法	141
3 利用上の留意点	7	(3) コミュニティの形成		(2) デザインのための既存資源の抽出		6.3.1 実態調査の時期	141
市街地整備事業の展開と都市デザイン	9	(4) 整備イメージの決定		(3) オープンスペースの配属・系統		6.3.2 調査内容	141
第1章 事業の展開と都市デザイン	10	2.2.3 立案過程での調整事項	70	(4) 系統についてのヒント		6.3.3 資料作成	142
1.1 事業全般にわたって基本とする視点	10	(1) 境界処理・土地利用調整互・土地利用と都市施設の境界処理		4.2.2 計画段階	111	6.4 既存の自然的資源の活用方法	143
(1) 対象地区の広域的位置づけ、機能・性格の明確化		(2) 眺望		4.2.3 実施段階	112	6.4.1 自然への眺望	143
(2) デザイン方針の確立と実現		2.2.4 基本的構成図	70	4.3 都市デザインのヒント	113	6.4.2 微地形	144
(3) 公共施設、建築物、土地操作の一体的な検討		主要な都市空間のデザイン	75	4.3.1 公園・緑地	113	6.4.3 水系	145
(4) 都市デザインと事業の推進		第3章 道路空間のデザイン	76	4.3.2 広場	116	6.4.4 植生	146
(5) 都市デザインを実現するための資金確保		3.1 各段階で重点的に検討する事項	78	(1) 配置に関するヒント		第7章 歴史的資源の活用	147
1.2 事業の各段階において検討すべき基本的事項	12	3.1.1 企画・構想段階	78	(2) 設計上のヒント		7.1 歴史的資源を活用することの意義	147
1.2.1 企画・構想段階	15	(1) デザインのための既存資源の把握		4.3.3 歩行者茶室	119	7.2 歴史的資源とは	148
(1) 企画・構想段階における住民参加		(2) 土地利用のイメージ		(1) 配置に関するヒント		7.2.1 市街地整備事業における歴史的資源	148
(2) A調査において実施すべき事項		(3) 幹線道路の計画		(2) 設計上のヒント		7.2.2 歴史的資源の別	148
1.2.2 計画段階	37	(4) 支所の縮小と整備イメージ		4.3.4 水系・水圏	120	7.3 歴史的資源の調査方法	149
(1) まちづくりの一貫性の維持		3.1.2 計画段階	80	(1) 配置に関するヒント		7.3.1 実態調査の時期	149
(2) 計画段階における住民参加		(1) 区画道路の設計		(2) 設計上のヒント		7.3.2 都市全体の歴史の調査	149
(3) 管理者との協議		(2) 支所のデザイン		4.3.4 水圏	120	7.3.3 地区における歴史的資源の調査	149
(4) 早い段階での後地想定		(3) 関係者の理解	80	(1) 配置に関するヒント		(1) 調査方法	
(5) 地区調査と建築物誘導方針の準備		(2) 関係者との協議		(2) 街並みの整備方針		(2) 歴史的資源の資料作成	
(6) B調査において実施すべき事項		3.2 都市デザインのヒント	81	5.1.2 計画段階	127	7.4 歴史的資源の評価と取扱い方針の決定	151
1.2.3 実施段階	54	3.2.1 基本事項	81	(1) 街並み構成要素のデザイン方針		7.4.1 共通認識の必要性	151
(1) 事業推進体制の一貫性		(1) 道路の線形による視覚的特性		(2) 街並み構成要素の調査		7.4.2 歴史的資源のプラス面とマイナス面	151
(2) 実施段階における住民参加		(2) 道路の格		(3) 関係権利者等へのPR		7.4.3 取扱い方針を決定する時期	151
(3) 建築物誘導方針の実施		(3) 道路の構造		(4) 実現方策の検討		7.4.4 取扱い方針を決定する際のヒント	152
(4) 実施計画において実施すべき事項		3.2.2 幹線道路	86	5.1.3 実施段階	127	7.5 歴史的資源の活用方法	153
1.2.4 維持・管理段階	58	(1) パターン		5.2 都市デザインのヒント	128	7.6 歴史的資源の活用と施行地区設定の考え方	156
(1) 良好な都市空間の維持		(2) 道路の格		5.2.1 商業地における業種配置	128	ケーススタディ	157
(2) 地区計画等の維持		(3) 配置と線形		5.2.2 歴史的な街並みの活用	128	1. 花巻南辺地区土地区画整理事業(岩手県花巻市)	159
(3) 完成した都市空間の評価		(4) プロポーション		5.2.3 街並みの統一と変化	130	2. 高坂丘陵地区土地区画整理事業(埼玉県東松山市)	169
(4) 都市デザインの継続		3.2.3 区画道路	94	5.2.4 コントロールの必要性	131	3. 果物一 第二土地区画整理事業(静岡県浜松市)	172
(5) 住民の役割とまちづくり		(1) パターン		5.2.5 沿道空間を構成する要素	132	4. 有外土地区画整理事業(愛知県名古屋市中)	176
地域の基本的構成の立案	61	(2) 道路の格		5.2.6 地区計画等による街並みの誘導	133	資料編	163
第2章 地域の基本的構成(マスタープラン)	62	(3) プロポーション		既存資源の活用	135	資料-1 都市デザインの実現を支援する制度	164
2.1 都市デザインに配慮した基本的構成の立案過程	62	3.2.4 支所のデザイン	103	個性豊かなまちづくり	136	資料-2 用語集	206
2.2 基本的構成のデザインヒント	63	3.2.5 修景、仕上げ	104	第6章 自然的資源の活用	137	資料-3 参考文献、引用文献	209
2.2.1 主要な都市施設の配置	63	第4章 オープンスペースのデザイン	106	6.1 自然的資源を活かすことの意味	137		
(1) 動線計画		4.1 オープンスペースとは	106	6.2 自然的資源とは	137		
(2) 幹線道路		(1) オープンスペースの特性		6.2.1 自然への眺望	137		
(3) 主要な歩行者系道路		(2) 土地区画整理事業とオープンスペース		6.2.2 微地形	139		
(4) オープンスペース		(3) 本章で取り上げるオープンスペース					
(5) 都市の中心となる核的施設							

# 「歩行者のためのコミュニティサイン」

～わかりやすい街づくりの計画ガイド～

- ・監修：建設省都市局
- ・編著：(財) 都市づくりパブリックデザインセンター
- ・1993年発行／A4判／116ページ

本書は、街中における歩行者のための案内・サインについて、サインのあり方、計画の進め方、システム、デザイン、情報内容など、コミュニティサインについて体系的に解説したもので、サイン計画の手引き書である。



## 目次

はじめに		
<b>1</b> コミュニティサインとは		
1-1 コミュニティサインの役割	1	
1-2 本書の目的	2	
1-3 領域の整理	3	
<b>2</b> 課題の整理と解決の方向性		
2-1 現状の課題	7	
2-2 課題解決の方向性	10	
<b>3</b> サイン整備の手順		
3-1 サイン整備の流れ	18	
3-2 企画	19	
3-3 計画	20	
3-4 設計	22	
3-5 実施	24	
3-6 管理	25	
3-7 事業推進体制	26	
3-8 チェックリスト	29	
<b>4</b> システムの基本型と選択の目安		
4-1 システムの基本型	31	
4-2 利用者	32	
4-3 配置	34	
4-4 情報形態	36	
4-5 段階的なシステム	40	
<b>5</b> 本体デザインの考え方		
5-1 本体デザインの役割	41	
5-2 複数のサインの関係	42	
5-3 周囲との調和	44	
5-4 乱立を防ぐ工夫	46	
<b>6</b> 表示デザインの考え方		
6-1 表示デザインの役割	49	
6-2 一貫性を持たせる	50	
6-3 情報どうしの関係を整理する	51	
6-4 文字	53	
6-5 ピクトグラム	61	
6-6 地図	64	
6-7 色彩	70	
6-8 夜間の視認性	72	
<b>7</b> 地域性の表現		
7-1 地域性の表現の在り方	73	
7-2 街の構造とサインのシステム	75	
7-3 街の景観特性とサインのデザイン	76	
7-4 街の文化とサインのソフト	78	
<b>8</b> 情報掲載の考え方と標準		
8-1 情報の基準化	80	
8-2 掲載基準の考え方	81	
8-3 日本語表記基準の考え方	86	
8-4 英語表記基準の考え方	88	
<b>9</b> 設置の考え方		
9-1 設置の考え方	92	
9-2 その他の留意事項	95	
<b>10</b> サイン整備の事例		
10-1 大阪市	96	
10-2 金沢シーサイドタウン	101	
10-3 浜松市	105	
10-4 佐賀市	109	
10-5 柳川市	113	
おわりに		

# 「都市景観パーツ活用ガイド」(全5巻)

- ・監修：建設省都市局
- ・編著：(財)都市づくりパブリックデザインセンター

[ペープメント系] 1993年発行/A4判/118ページ

[ポール系] 1994年発行/A4判/120ページ

[シェルター系] 1994年発行/A4判/126ページ

[ファニチャー系] 1994年発行/A4判/122ページ

[その他の景観形成材・総括] 1994年発行/A4判/154ページ

本書は、まちづくりに欠かせない景観材料、景観パーツについて、ペープメント系、ポール系、シェルター系、ファニチャー系、その他の景観形成材の5分野に分けて、それぞれの特性、施工方法及び留意点、維持管理上の留意点などについて解説したものです。





# 「都市景観パーツ活用ガイド」[シェルター系] 目次



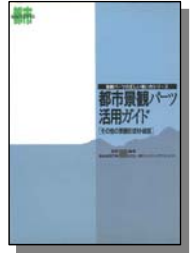
序	1. 高欄	2. 柵・フェンス	4. ボード	5. シェルター	6. 公衆トイレ	7. 電話ボックス	8. エレベーター・エスカレーター	9. 歩道橋															
第1章 高欄・柵・手摺り	1. はじめに	1. 高欄の種類	2.1 機能による分類	2.2 形状による分類	3. 高欄に用いられる材料	4. 金属の表面処理	5. 設計	5.1 高欄の基本設計	5.2 定常部の設計	5.3 追加的機能													
第2章 柵・フェンス・ボード	1. 柵・フェンス	1.1 はじめに	1.2 柵・フェンスの種類	1.3 柵・フェンスに使用される素材およびその特性	1.4 スチール(鋼)	1.5 アルミ(鋁材およびアルミ練物)	1.6 鋼	1.7 アルミ	1.8 鋼	1.9 スチール	1.10 アルミ												
第3章 シェルター	1. はじめに	2. シェルターの用途	2.1 歩道橋	2.2 設備橋	2.3 出入口	2.4 駐車場	2.5 駐輪場	2.6 公欄	3. シェルターの構造	3.1 アーチ型	3.2 ドーム型	3.3 ステンレス	3.4 下型	4. シェルターを構成する材料	4.1 鉄	4.2 ステンレス	4.3 アルミニウム	4.4 樹脂(ポリカーボネート)	4.5 ガラス	4.6 木材	4.7 膜		
第4章 公衆トイレ・電話ボックス	1. 公衆トイレ	1.1 はじめに	1.2 設置場所及び条件	1.3 上層構造の種類	1.4 便器施設	1.5 衛生設備	1.6 照明設備	1.7 防犯設備	1.8 設備設計	1.9 身体障害者への配慮	1.10 設計から施工及び維持管理までのフロー	1.11 設計標準	1.12 設備の補修	1.13 アンカーセットの通り出し確認(雨仕、曲がり壁)	1.14 追加設備	1.15 設備、取付け	1.16 維持管理	2. 電話ボックス	2.1 はじめに	2.2 屋外公衆電話ボックスの設置と種類	2.3 設計段階の注意事項	2.4 維持管理	2.5 設計から施工および維持管理までのフロー
第5章 エレベーター・エスカレーター・歩道橋	1. エレベーター・エスカレーター	1.1 はじめに	1.2 種類	1.3 エレベーター	1.4 水平エレベーター	1.5 斜行エレベーター	1.6 ステップエレベーター(斜り階段エスカレーター)	1.7 ストリートフロア	1.8 注意すべき整備条件	1.9 共用設備	1.10 機械室	1.11 昇降機	1.12 電気について	1.13 その他	1.14 施工段階での注意事項	1.15 施工時点までの処理	1.16 設計から施工・維持管理までのモデルフロー	1.17 フローチャート	1.18 エレベーター-階段フロア	1.19 メンテナンスフロア			
2. 歩道橋	2.1 はじめに	2.2 歩道橋の種類	2.3 橋本体による分類	2.4 架設された場所による分類	2.5 用途による分類	2.6 付随施設による分類	2.7 化粧板・屋根の設計	2.8 基本構造	2.9 化粧板・屋根の設計条件	2.10 化粧板のデザイン	2.11 化粧板・屋根のデザインから施工までのフロー	2.12 化粧板・屋根の設計フロー	2.13 化粧板・屋根の製作フロー	2.14 化粧板・屋根の施工フロー	2.15 人歩橋の形態美								
参考	公共規格・業界規格一覧	参考文献	カラー写真データ	都市景観パーツ活用ガイドシリーズ構成	あとがき	素材材料研究部会名簿・執筆者・編集事務局																	

# 「都市景観パーツ活用ガイド」[ファニチャー系] 目次



序	1. ベンチ	2. くすね	3. 吸い入れ	4. フラント	5. モニュメント	6. 道具	7. 噴水	8. シェルター	9. 緑地													
第1章 ベンチ	1. はじめに	1.2 ベンチの形状と素材	2. ベンチの基本寸法	2.1 一般タイプ	2.2 公園タイプ	2.3 その他	3. ベンチの種類と形状別	3.1 固定式・可動式	3.2 付加機能のあるベンチ	3.3 照明	3.4 休憩場所としてのベンチ	3.5 ベンチの占拠とその対策	4. 維持管理	4.1 使用状況、あるいはそれによる機能の低下	4.2 形状の整備	4.3 形状の劣化	4.4 使用目的の再考					
第2章 くすね	1. 概説	1.1 はじめに	1.2 くすねの形状と外観	2. くすねの基本寸法	2.1 一般タイプ	2.2 公園タイプ	2.3 その他	3. くすねの別外と別外との役割	3.1 出入口の形状(分形式)	3.2 表示の図と方法	3.3 表示の図と方法	3.4 表示の図と方法	3.5 カラス対策、その他	4. 維持管理	4.1 概説	4.2 形状の劣化	4.3 カラス対策	4.4 使用目的の再考				
第3章 吸い入れ	1. 概説	1.1 はじめに	1.2 吸い入れの形状と外観	2. 吸い入れの設計上の留意事項	2.1 吸い入れの形状	2.2 吸い入れの形状と外観	2.3 吸い入れの形状と外観	2.4 吸い入れの形状と外観	2.5 吸い入れの形状と外観	2.6 吸い入れの形状と外観	2.7 吸い入れの形状と外観	2.8 吸い入れの形状と外観	2.9 吸い入れの形状と外観	2.10 吸い入れの形状と外観	2.11 吸い入れの形状と外観	2.12 吸い入れの形状と外観	2.13 吸い入れの形状と外観	2.14 吸い入れの形状と外観	2.15 吸い入れの形状と外観			
第4章 フラント	1. 概説	1.1 はじめに	1.2 フラントの形状と外観	2. フラントの設計上の留意事項	2.1 フラントの形状	2.2 フラントの形状と外観	2.3 フラントの形状と外観	2.4 フラントの形状と外観	2.5 フラントの形状と外観	2.6 フラントの形状と外観	2.7 フラントの形状と外観	2.8 フラントの形状と外観	2.9 フラントの形状と外観	2.10 フラントの形状と外観	2.11 フラントの形状と外観	2.12 フラントの形状と外観	2.13 フラントの形状と外観	2.14 フラントの形状と外観	2.15 フラントの形状と外観			
第5章 モニュメント	1. はじめに	2. モニュメントの基本型	2.1 設置環境による分類	2.2 形状による分類	2.3 設置環境による分類	2.4 設置環境による分類	2.5 設置環境による分類	2.6 設置環境による分類	2.7 設置環境による分類	2.8 設置環境による分類	2.9 設置環境による分類	2.10 設置環境による分類	2.11 設置環境による分類	2.12 設置環境による分類	2.13 設置環境による分類	2.14 設置環境による分類	2.15 設置環境による分類	2.16 設置環境による分類	2.17 設置環境による分類	2.18 設置環境による分類	2.19 設置環境による分類	2.20 設置環境による分類
第6章 噴水	1. 概説	1.1 はじめに	1.2 噴水の形状	1.3 噴水の形状と外観	1.4 噴水の形状と外観	1.5 噴水の形状と外観	1.6 噴水の形状と外観	1.7 噴水の形状と外観	1.8 噴水の形状と外観	1.9 噴水の形状と外観	1.10 噴水の形状と外観	1.11 噴水の形状と外観	1.12 噴水の形状と外観	1.13 噴水の形状と外観	1.14 噴水の形状と外観	1.15 噴水の形状と外観	1.16 噴水の形状と外観	1.17 噴水の形状と外観	1.18 噴水の形状と外観	1.19 噴水の形状と外観	1.20 噴水の形状と外観	
第7章 緑地	1. 概説	1.1 はじめに	1.2 緑地の形状	1.3 緑地の形状と外観	1.4 緑地の形状と外観	1.5 緑地の形状と外観	1.6 緑地の形状と外観	1.7 緑地の形状と外観	1.8 緑地の形状と外観	1.9 緑地の形状と外観	1.10 緑地の形状と外観	1.11 緑地の形状と外観	1.12 緑地の形状と外観	1.13 緑地の形状と外観	1.14 緑地の形状と外観	1.15 緑地の形状と外観	1.16 緑地の形状と外観	1.17 緑地の形状と外観	1.18 緑地の形状と外観	1.19 緑地の形状と外観	1.20 緑地の形状と外観	
第8章 ストリートファニチャーに用いる素材と維持管理	1. 素材の種類	1.1 概説	1.2 素材の種類	1.3 素材の種類	1.4 ストリート系	1.5 素材の種類	1.6 素材の種類	1.7 素材の種類	1.8 素材の種類	1.9 素材の種類	1.10 素材の種類	1.11 素材の種類	1.12 素材の種類	1.13 素材の種類	1.14 素材の種類	1.15 素材の種類	1.16 素材の種類	1.17 素材の種類	1.18 素材の種類	1.19 素材の種類	1.20 素材の種類	
2. 表面仕上げと処理方法	2.1 表面仕上げと処理方法	2.2 表面仕上げと処理方法	2.3 表面仕上げと処理方法	2.4 表面仕上げと処理方法	2.5 表面仕上げと処理方法	2.6 表面仕上げと処理方法	2.7 表面仕上げと処理方法	2.8 表面仕上げと処理方法	2.9 表面仕上げと処理方法	2.10 表面仕上げと処理方法	2.11 表面仕上げと処理方法	2.12 表面仕上げと処理方法	2.13 表面仕上げと処理方法	2.14 表面仕上げと処理方法	2.15 表面仕上げと処理方法	2.16 表面仕上げと処理方法	2.17 表面仕上げと処理方法	2.18 表面仕上げと処理方法	2.19 表面仕上げと処理方法	2.20 表面仕上げと処理方法		
3. 素材の維持管理	3.1 概説	3.2 維持管理	3.3 維持管理	3.4 維持管理	3.5 維持管理	3.6 維持管理	3.7 維持管理	3.8 維持管理	3.9 維持管理	3.10 維持管理	3.11 維持管理	3.12 維持管理	3.13 維持管理	3.14 維持管理	3.15 維持管理	3.16 維持管理	3.17 維持管理	3.18 維持管理	3.19 維持管理	3.20 維持管理		
参考	公共規格・業界規格一覧	参考文献	カラー写真データ	都市景観パーツ活用ガイドシリーズ構成	あとがき	素材材料研究部会名簿・執筆者・編集事務局																

# 「都市景観パーツ活用ガイド」[その他の景観形成材・総括] 目次



<b>序</b> (参考事例) 1. 護岸 2. 橋脚 3. 外装材 4. 塗料・フィニッシュ着色系 5. 都市景観と素材・材料	<b>2. 用途と構成</b> 2.1 外装材使用目的・効果 (1) 景観機能 (2) 防汚機能 (3) トンネル防凍 (4) その他の効果 2.2 外装材の種類 (1) 高耐候性カラー (2) 高耐候性樹脂 (3) トンネル防凍 (4) その他の外装材 2.3 外装材の構成 (1) 高耐候性カラー (2) 高耐候性樹脂 (3) トンネル防凍 (4) その他の外装材	<b>7. メンテナンス</b> 7.1 管理体制 7.2 補修作業 (1) 補修作業区分 (2) 補修作業 (3) 塗料の劣化 (4) その他補修作業 (5) 補修作業における留意点	<b>6. メンテナンスについて</b> 6.1 塗料劣化 6.2 劣化原因 (1) セメント系塗料の劣化 (2) 樹脂系塗料の劣化 (3) アルミニウム系塗料の劣化 6.3 下地劣化 (1) セメント系塗料の劣化 (2) セメント系塗料の劣化 (3) アルミニウム系塗料の劣化 6.4 下地劣化 (1) セメント系塗料の劣化 (2) アルミニウム系塗料の劣化 6.5 鉄筋コンクリートの劣化現象と塗装	<b>7.1 塗料の種類</b> 7.2 補修作業 (1) 補修作業区分 (2) 補修作業 (3) 塗料の劣化 (4) その他補修作業 (5) 補修作業における留意点	<b>6.1 塗料劣化</b> 6.2 劣化原因 (1) セメント系塗料の劣化 (2) 樹脂系塗料の劣化 (3) アルミニウム系塗料の劣化 6.3 下地劣化 (1) セメント系塗料の劣化 (2) セメント系塗料の劣化 (3) アルミニウム系塗料の劣化 6.4 下地劣化 (1) セメント系塗料の劣化 (2) アルミニウム系塗料の劣化 6.5 鉄筋コンクリートの劣化現象と塗装	<b>参考</b> 素材別標準塗装仕様……… 公共施設・景観機能……… 参考文献……… カラー写真データ 都市景観パーツ活用ガイドシリーズ解説 赤谷 浩一……… 景観材料研究会 編集者・執筆委員
<b>第1章 護岸</b> 1. はじめに 2. 河川の周辺環境と護岸の形式 2.1 自然河川(1)と都市河川 2.2 河川周辺の代表的な護岸形式 (1) 土質 (2) 石積 (3) 鋼管埋込	<b>3. 景観性・生活快適性と治水性を考慮した護岸構造</b> 3.1 土質 3.2 中流域 (1) 治水構造 (2) 治水構造 (3) 治水構造 (4) 治水構造 3.3 都市河川(1)と都市河川 (1) 都市河川(1)と都市河川 (2) 都市河川(2)と都市河川 (3) 都市河川(3)と都市河川 (4) 都市河川(4)と都市河川 (5) 都市河川(5)と都市河川	<b>第4章 塗料</b> 1. 塗料 1.1 塗料の種類と効果 1.2 塗料の種類 1.3 塗料の種類と効果 1.4 おもな塗料の種類と効果 1.5 塗料の種類と効果	<b>第5章 シャッター</b> 1. 概要 1.1 はじめに 1.2 概要 (1) 概要 (2) 概要 (3) 概要 (4) オートマチック (5) オートマチック 1.3 仕様 (1) 仕様 (2) 仕様 (3) 仕様 1.4 構成材料の材質による分類	<b>2.1 塗料の種類</b> 7.2 補修作業 (1) 補修作業区分 (2) 補修作業 (3) 塗料の劣化 (4) その他補修作業 (5) 補修作業における留意点	<b>第6章 都市景観を構成する素材・材料をめぐる現状と課題</b> 1. 概観 1.1 概観 1.2 概観 1.3 概観 1.4 オリジナル製品と展開	
<b>第2章 橋脚</b> 1. はじめに 2. 事業における各段階での留意点 2.1 設計段階での留意点 2.2 施工段階での留意点 2.3 維持管理段階での留意点 2.4 その他の留意点	<b>4. 護岸のメンテナンス</b> 4.1 防食 4.2 補修	<b>2. 塗装設計</b> 2.1 塗装設計の基本的な考え方 2.2 設計手順 (1) 概要 (2) 概要 (3) 概要 (4) 概要 (5) 概要 2.3 色指定 (1) 色指定 (2) 色指定 (3) 色指定 (4) 色指定 (5) 色指定 2.4 カラー指定 (1) カラー指定 (2) カラー指定 (3) カラー指定 (4) カラー指定 (5) カラー指定 2.5 カラー指定 (1) カラー指定 (2) カラー指定 (3) カラー指定 (4) カラー指定 (5) カラー指定	<b>3. 色彩設計</b> 3.1 色の三属性 3.2 カラー指定 3.3 色指定 (1) 色指定 (2) 色指定 (3) 色指定 (4) 色指定 (5) 色指定 3.4 カラー指定 (1) カラー指定 (2) カラー指定 (3) カラー指定 (4) カラー指定 (5) カラー指定 3.5 カラー指定 (1) カラー指定 (2) カラー指定 (3) カラー指定 (4) カラー指定 (5) カラー指定 3.6 カラー指定 (1) カラー指定 (2) カラー指定 (3) カラー指定 (4) カラー指定 (5) カラー指定 3.7 カラー指定 (1) カラー指定 (2) カラー指定 (3) カラー指定 (4) カラー指定 (5) カラー指定	<b>2. 設計</b> 2.1 設計上の留意点 2.2 設計上の留意点 2.3 設計上の留意点 2.4 設計上の留意点 2.5 設計上の留意点 2.6 設計上の留意点 2.7 設計上の留意点 2.8 設計上の留意点 2.9 設計上の留意点 2.10 設計上の留意点	<b>2. 素材・材料に関するアンケート調査の報告</b> 2.1 調査の目的・内容 2.2 調査の結果 2.3 アンケート結果のまとめ (1) 調査結果のまとめ (2) 調査結果のまとめ (3) 調査結果のまとめ (4) 調査結果のまとめ (5) 調査結果のまとめ (6) 調査結果のまとめ (7) 調査結果のまとめ (8) 調査結果のまとめ (9) 調査結果のまとめ (10) 調査結果のまとめ	
<b>第3章 外装材</b> 1. はじめに 1.1 外装材の定義 (1) 高耐候性カラー (2) 高耐候性樹脂 (3) トンネル防凍 1.2 使用目的 (1) 高耐候性カラー (2) 高耐候性樹脂 (3) トンネル防凍 1.3 その他	<b>5. 外装材の製造</b> 5.1 加工工程 (1) 化粧材の成形 (2) 化粧材の加工 (3) 化粧材の加工 (4) 化粧材の加工 (5) 化粧材の加工 5.2 加工に関する留意点 (1) 加工工程 (2) 加工工程 (3) 加工工程 (4) 加工工程 (5) 加工工程 5.3 加工工程 (1) 加工工程 (2) 加工工程 (3) 加工工程 (4) 加工工程 (5) 加工工程 5.4 加工工程 (1) 加工工程 (2) 加工工程 (3) 加工工程 (4) 加工工程 (5) 加工工程 5.5 加工工程 (1) 加工工程 (2) 加工工程 (3) 加工工程 (4) 加工工程 (5) 加工工程 5.6 加工工程 (1) 加工工程 (2) 加工工程 (3) 加工工程 (4) 加工工程 (5) 加工工程 5.7 加工工程 (1) 加工工程 (2) 加工工程 (3) 加工工程 (4) 加工工程 (5) 加工工程 5.8 加工工程 (1) 加工工程 (2) 加工工程 (3) 加工工程 (4) 加工工程 (5) 加工工程	<b>3. 施工</b> 3.1 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.2 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.3 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.4 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.5 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.6 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.7 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.8 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.9 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点 3.10 施工上の留意点 (1) 施工上の留意点 (2) 施工上の留意点 (3) 施工上の留意点 (4) 施工上の留意点 (5) 施工上の留意点	<b>4. 塗装方法</b> 4.1 工業塗装で使用される塗装方法 4.2 現場塗装で使用される塗装方法 4.3 塗装方法の種類と特徴	<b>5. 施工管理および塗膜欠陥と対策</b> 5.1 塗膜欠陥 5.2 塗膜欠陥 (1) 塗膜欠陥 (2) 塗膜欠陥 (3) 塗膜欠陥 (4) 塗膜欠陥 (5) 塗膜欠陥 5.3 塗膜欠陥 (1) 塗膜欠陥 (2) 塗膜欠陥 (3) 塗膜欠陥 (4) 塗膜欠陥 (5) 塗膜欠陥 5.4 塗膜欠陥 (1) 塗膜欠陥 (2) 塗膜欠陥 (3) 塗膜欠陥 (4) 塗膜欠陥 (5) 塗膜欠陥 5.5 塗膜欠陥 (1) 塗膜欠陥 (2) 塗膜欠陥 (3) 塗膜欠陥 (4) 塗膜欠陥 (5) 塗膜欠陥 5.6 塗膜欠陥 (1) 塗膜欠陥 (2) 塗膜欠陥 (3) 塗膜欠陥 (4) 塗膜欠陥 (5) 塗膜欠陥 5.7 塗膜欠陥 (1) 塗膜欠陥 (2) 塗膜欠陥 (3) 塗膜欠陥 (4) 塗膜欠陥 (5) 塗膜欠陥 5.8 塗膜欠陥 (1) 塗膜欠陥 (2) 塗膜欠陥 (3) 塗膜欠陥 (4) 塗膜欠陥 (5) 塗膜欠陥		

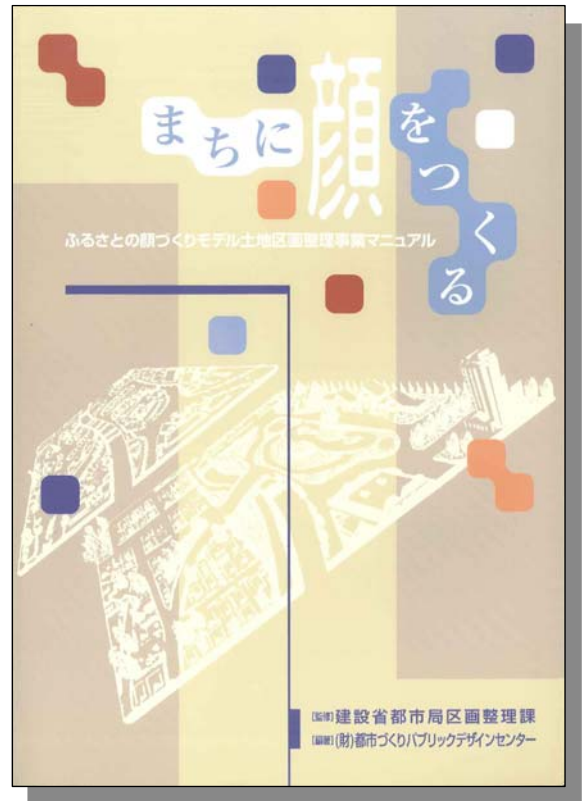
# 「まちに顔をつくる」

～ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業マニュアル～

- ・監修：建設省都市局区画整理課
- ・編著：(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- ・1996年発行／A4判／168ページ

本書はふるさとの顔づくり事業の推進にあたり、顔づくり計画の視点、策定のポイント、手続きの流れといった計画策定の際に参考にすべき事項とあわせ、これまでの事例を整理し、計画づくりのための手引書として編集されている。

また、顔づくり事業にとどまらず、一般の土地区画整理事業やまちづくり全般にわたる計画策定においても有効に活用できる内容となっている。



## 目次

### 本マニュアルの構成

1.ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業とは	2
2.本書作成の背景と意義	4
3.本書の構成と内容	4
I.計画編	
1.1.顔づくり計画策定の基本的視点	10
1.1.1.顔づくりの意義	10
(1)顔づくりとは	10
(2)まちづくりにおける顔づくりの重要性	10
1.1.2.まちの個性・魅力の理解と発見	11
(1)まちの個性とは	11
(2)まちの魅力とは	11
(3)まちの個性と魅力の発見	12
1.1.3.住民参加の推進	13
1.2.顔づくり計画策定のポイント	14
1.2.0.本章の趣旨	14
1.2.1.顔づくり計画の前提	15
(1)市町村概要・特性及び上位計画・関連計画の把握	15
(2)地区特性の把握	18
1.2.2.土地区画整理事業計画の概要	21
(1)土地区画整理事業計画の概要	21
(2)土地区画整理事業が先行する場合の対応の視点	21
1.2.3.顔づくりの基本方針	23
(1)地区の整備目標を確立する	23
(2)全体テーマ、サブテーマを設定する	23
(3)「顔」の範囲の設定	27
1.2.4.地区の空間構成とデザイン方針	29
(1)デザインの基本方針	30
(2)基本的空間構成(ゾーニング、機能配置)	30
(3)公共施設の整備方針	32
(4)民有空間の誘導方針	36

(5)空間構成のデザイン方針	37
1.2.5.公共空間の整備計画	38
(1)計画・設計方針	38
(2)公共施設の計画・設計	39
1.2.6.民有空間の誘導計画	57
(1)誘導方針	57
(2)計画的な建築物の建設	58
(3)建築物等の規制誘導	59
(4)工作物	60
(5)屋外広告物	61
(6)外構等	62
1.2.7.顔づくり事業を進めるための方策	64
(1)地区計画等	64
(2)換地操作	70
(3)他事業との合併による建築物の整備	70

### II.事例編

2.1.事例選出の概要	72
2.2.個別事例地区	73
2.2.1.地域の基本的構成	77
(1)公共施設の配置構成	77
(2)換地操作	78
2.2.2.主要な都市空間のデザイン(公共空間の整備計画)	80
(1)公共施設等の構造	80
(2)公益施設の整備	88
(3)公共施設の修景	89
2.2.3.主要な都市空間のデザイン(民有空間の誘導計画)	95
(1)建築物の規制・誘導	95
(2)核的施設	96
(3)合併施行	96
2.2.4.その他	98
(1)自然的資源の活用	98
(2)歴史的資源の活用	99
(3)コミュニティ	99
(4)その他	100

2.3.総合事例地区	101
------------	-----

### III.手続編

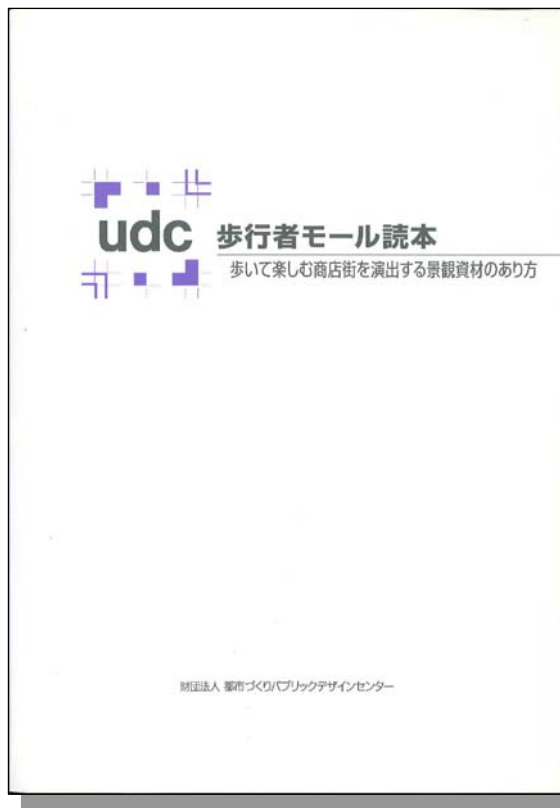
3.1.顔づくり事業の流れ	120
3.1.1.顔づくり事業の流れ	120
(1)区画整理事業と顔づくり事業の関係	120
(2)発意から事業後までの流れ	120
3.1.2.顔づくり事業の指定と計画受理	122
(1)地区指定要件	122
(2)計画書	122
3.1.3.顔づくり事業の助成措置	122
3.1.4.「ふるさとの顔づくり設計競技」の活用	127
3.2.顔づくり事業の体制	128
3.2.1.顔づくり事業と住民参加	128
(1)住民参加の必要性	128
(2)顔づくり事業への関わり方・住民参加の範囲	128
(3)住民参加のスタイル	130
(4)早期からの取り組みの必要性	131
(5)地元有識者・学識経験者等の活用	131
3.2.2.顔づくりと関係機関	132
3.2.3.顔づくりとコンサルタント	133
3.2.4.事業後の維持管理	134
(1)顔づくり事業と維持管理	134
(2)維持管理の内容	134
(3)維持管理の主体と活動イメージ	134
3.3.顔づくり計画書書式	136
◆巻末資料	
a.通達	152
b.事業調書等	160
c.顔づくり事例担当課一覧	164
d.参考文献(顔づくり計画に役立つ関連図書)	167

# 「歩行者モール読本」

～歩いて楽しむ商店街を演出する景観資材のあり方～

- ・編著：(財) 都市づくりパブリックデザインセンター
- ・2007年発行／A4判／85ページ

本書は、首都圏において賑わっている商店街19地区をサンプルとして選定し、これらについて実地観察を行うとともに、行政及び関係者からヒアリングを実施し、これらの分析結果を踏まえて、賑わいのある歩行者モールに必要な空間構成や環境のあり方、及びそれらを成立させる景観素材や構成部材のあり方について提言したものである。



目次	はじめに .....	2
第一章 総論 .....	3	
調査の視点 .....	4	
調査検討の流れ .....	5	
中心市街地の課題 .....	6	
街なか求められ視点 .....	7	
商業環境の変化 .....	8	
街なか中心部の復権 .....	8	
街の新たな利用者像 .....	9	
代表的な消費傾向 .....	10	
モールの社会的役割 .....	11	
屋外空間の活動 .....	12	
環境と魅力要素 .....	14	
商店街の景観の考え方 .....	15	
商業空間を快適化する要素 .....	16	
第二章 モールの分類 .....	23	
モールの分類 .....	24	
モールの種類構成 .....	26	
第三章 調査事例／19地区 .....	27	

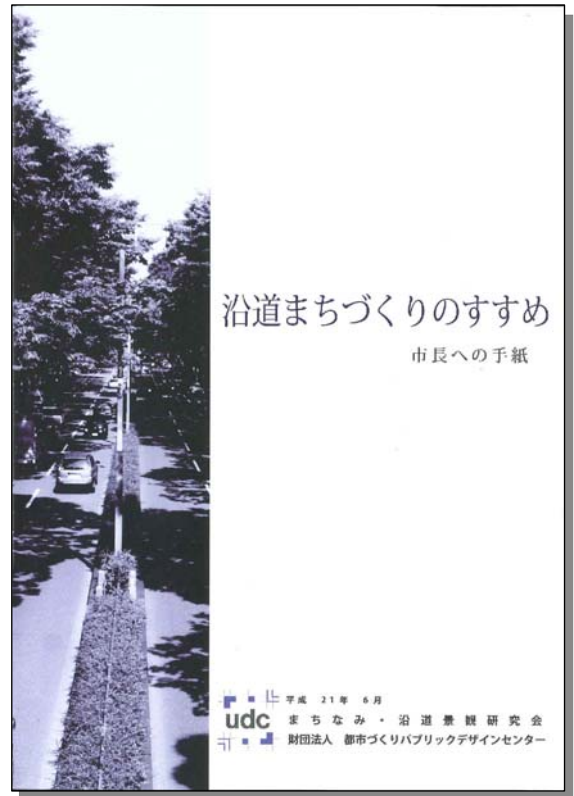
# 「沿道まちづくりのすすめ」

～市長への手紙～

- ・ 編著：まちなみ・沿道景観研究会  
(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- ・ 2009年発行／A4判／25ページ

本書は、「まちなみ・沿道景観研究会」(座長：西村幸夫東京大学教授、事務局：(財)都市づくりパブリックデザインセンター)の成果を取りまとめたものである。

地域の個性を端的に表す代表的な「都市の顔」となるべき、その街のメインストリートの良好な街並み景観の形成について、現制度の柔軟な運用、取組み方法や組織のあり方など、現状の改善点を含め、具体的な方策やアイデアを盛り込み、良好で個性的な街並み景観を推進するための10の方策を提案している。



## 目次

はじめに	2
第1章 今こそ求められる“良好なまちなみ・景観”の形成	4
第2章 美しい沿道景観をつくり出す10の提案	10
1 市が主体となって取りまとめる景観ビジョン	13
2 公共施設の整備や建築活動をコントロールし、 将来の景観ビジョンを共有する開かれた協議の場づくり	14
3 景観ビジョンを実現するマネジメント制度の充実	16
4 建築ファサード等まちなみ形成部分への補助金の導入	18
5 まちなみ景観の維持・向上及びまちの活性化活動への助成	19
6 都市開発諸制度における、まちなみ形成及びデザインの評価指標の導入	20
7 地元による景観維持・向上活動組織の設置	21
8 風格有る道路空間の先行的、モデル的整備	22
9 市の総合的な取り組みの向上と継続	24
10 市民や沿道の方々の理解と関与	25

# 「日本の美しいまちなみ事例」 vol.1 vol.2

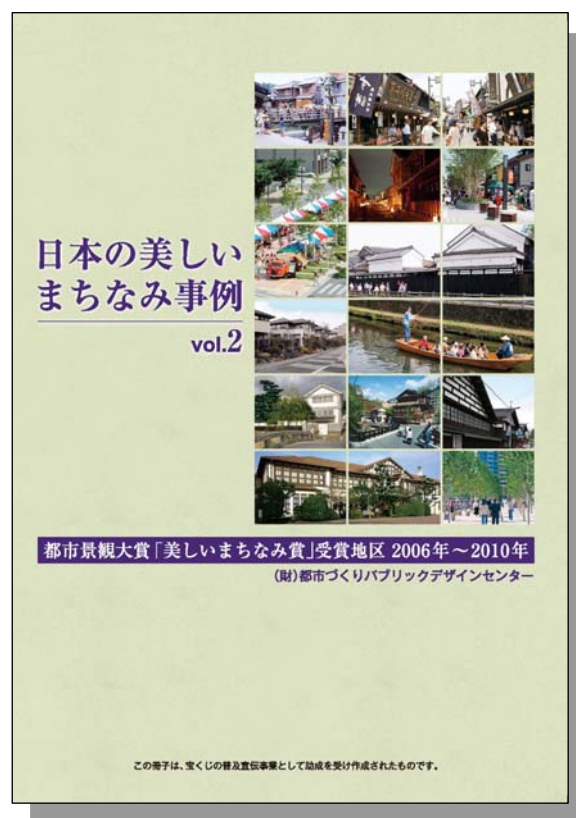
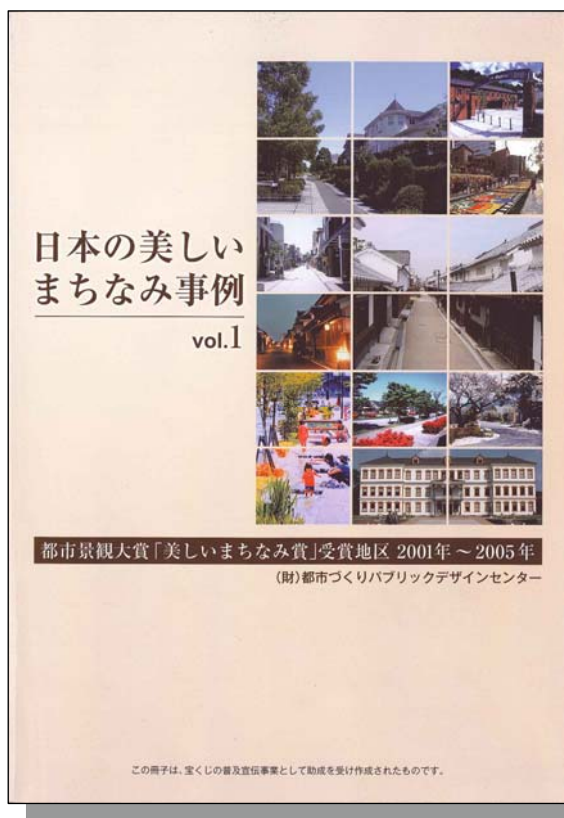
～都市景観大賞「美しいまちなみ賞」受賞地区の紹介～

・編集・発行：(財)都市づくりパブリックデザインセンター

[vol.1] 2010年発行/A4判・カラー/147ページ

[vol.2] 2011年発行/A4判・カラー/172ページ

本書は、平成13年～22年の10年間に実施した都市景観大賞「美しいまちなみ賞」を受賞した地区の都市景観を紹介するもので、vol.1は前期5年（平成13年～17年）に受賞した46地区について、vol.2は後期5年（平成18年～22年）に受賞した44地区について収録している。内容は、各地区ごとに、地区の概要、都市景観の形成・保全に関する取組みの経緯などを整理するとともに、多数の写真を掲載してまちなみの景観を紹介している。



# 機関誌「都市＋デザイン」

・編集・発行：(財) 都市づくりパブリックデザインセンター

[vol. 23] 2005年発行/A4判/84頁…… 特集：景観まちづくりの実践

[vol. 24] 2006年発行/A4判/116頁…… 特集：中心市街地活性化と景観形成

[vol. 25] 2007年発行/A4判/126頁…… 特集：景観法の展開“景観法施行1年を経て”

[vol. 27] 2008年発行/A4判/82頁…… 特集：景観まちづくりの展開

[vol. 28] 2010年発行/A4判/56頁…… u d c 創立20周年記念特集号

[vol. 29] 2011年発行/A4判/24頁…… 特集：コンペ・プロポーザルを活用したまちづくり

